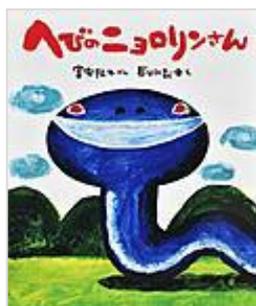


こどものほん 新刊あんない

2025年 | 月号



「へびのニョロリンさん」

富安 陽子//ぶん 長谷川 義史//え E913ト 童心社 2024年10月発行

冬眠から目を覚ましたへびのニョロリンさん。古い自分の皮を脱ぎ、大きくなった自分の身体を見て新しいあなぐらを探すことにしました。そこで見つけたのは、トメばあさんの家の屋根裏。屋根裏の物音を不思議に思ったトメばあさんが屋根裏をのぞくと、そこにはニョロリンさんが！ニョロリンさんとトメばあさんは仲良く暮らすことになりましたが、ある夜、ドロボウがやってきて…。



「ふしぎなはこ」

イザベッラ パリア//ぶん パオロ プロイエッティ//え おがわ ひとみ//やく E973ハ 評論社 2024年10月発行

ある朝、動物たちが目を覚ますと森の真ん中に箱がありました。箱には2つ穴が開いていて、誰かが入っているようです。その「誰か」に声をかけても、怖がっている様子で出てきません。そこで、そんな「誰か」が怖くないように、動物たちはお祭りやパーティをして、「誰か」が出てくるのを待っています。

森の動物たちの優しい想いは「誰か」に届くのでしょうか？



「ごくごくぎゅうにゅう げんきなからだ」

ささき みお//絵 五関 正江//監修 K648シ 少年写真新聞社 2024年10月発行

いつも給食に牛乳が出るのはなぜ？そんな疑問に答えるため、牛乳パックからうしくんが登場！牛乳に多く含まれているカルシウムのカルちゃんとともに、給食に牛乳が出る理由をわかりやすく説明しています。

低学年の子にも読みやすい、食育の絵本です。



「ふみきりペンギン」

おくはら ゆめ//作 絵 K913オ あかね書房 2024年10月発行

ゆうとは友達に言われた「左手でえんぴつもってるの、ヘン」という言葉を気にしていた。すると、電車の踏切の向こうに、ペンギンが並んでいるのが見えて…？

不思議な出会いや出来事が、ゆうとたちのモヤモヤした心を軽くする。「ふつう」じゃなくても良いと教えてくれる物語です。

※この他にも、あたらしい本がたくさんあります。くわしくは、「としょかんホームページ→WebOPAC 本をさがす →資料検索→新着検索→新刊検索または新着検索→子どもの本」をチェックしてみてくださいね。